

令和 7 年度 学校関係者評価報告書最終評価

大阪市立野里小学校 学校協議会

1 総括についての評価(最終)

児童数が令和 4 年から 8 年の間で 7 4 名、通常学級が 4 学級減少する中で、教員の働き方改革、カリキュラムマネジメントに取り組んだ 1 年であった。研修の日を各月の第 3 金曜日に設定することで教員の指導力向上にもつながり、学校全体として子供たちの諸課題に対してアプローチした。

2 年度目標ごとの評価(最終)

【安全・安心な教育の推進】たてわり班活動では集会やたてわり班清掃、大阪簡裁万博への全校オリエンテーリングなど、高学年の低学年へのフォローシップが養われ、児童間のコミュニケーション能力の向上や、望ましい人間関係の形成に結びついている。問題行動が起きた時には、校務支援パソコンを活用して情報共有を行ったり、指導の方向性を共通理解したりすることによって指導の一貫性を意識することができた。学校の内外で起きた問題行動についても、教職員全体で共有しながら児童理解を深め、保護者や民生委員会等、地域との連携に努めてきた。また、日常的に自分の気持ちを伝えることや相手の気持ちを考えることの大切さを意識できるような指導を継続する。

【未来を切り開く学力・体力の向上】について、健康生活強調週間（早寝・早起き）を学期に 1 回実施し、家庭の協力を得ながら児童に規則正しい生活習慣への意識を高めることができた。

学力向上支援チーム事業による研修や授業参観を通じた指導・助言により、教員の授業改善に対する意識が向上した。「話し合いを通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか」の質問に対して最も肯定的に回答する児童が 4 2. 8 % と多くの児童が話し合い活動に意欲的に取り組んでいる。

【学びを支える教育環境の充実】について、発達段階に応じて学習者用端末を使用した。Canva や GoogleClassRoom の活用など、児童が主体的に一人一台端末を活用し、探求型学習に意欲的に取り組んでいる。心の天気の入力や連絡帳の記入、調べ学習やオンライン学習にも積極的に活用している。

「研修の日」として、毎月第 3 金曜日の校時を全学年 5 校時とし、研究部への参加や放課後時間の教材研究・校内研修を行えるように設定することで教員の資質向上することができた。

3 今後の学校運営についての意見

- ・読書活動がより進むように効果的な活動を工夫すること。また、地域の図書ボランティアと共同して図書館運営を進める。校内でも、図書館司書が勤務している日に移動図書館を休み時間に行うように検討中。
- ・今後も学校教育は様々な課題が出てくることだろうが、一つ一つ丁寧に解決への努力を続けてほしい。